

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	桂川ウェルネスパーク	所管課	都市計画課
所在地	大月市富浜町鳥沢8438	設置年月日 (改築年月日等)	平成19年
管理方式	指定管理者(アメニス山梨(桂川)グループ、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県都市公園条例		
設置目的	①以下にあげる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ・良好な緑地景観、環境を提供すること ②農林業の体験の場を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	・西ゾーン 里山交流館、交流広場、遊びの庭、菜園、体験の庭、駐車場 ・中央ゾーン 農業見本園、里山体験棟、子供広場、平坦広場、運動広場、ドッグラン、吊り橋 ・東ゾーン 棚田、四阿、ピクニック広場、バーベキュー場、散策路、駐車場		
主な業務内容	① 施設・備品の管理運営業務 ② 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 ③ 農林業の体験を提供		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	66,557	60,379	65,959	
	有料施設利用者数	7,316	4,006	3,620	
					66,000
	利用者数合計	66,557	60,379	65,959	
	目標値	45,000	64,000	64,000	
	目標値設定の考え方	開園当初の入場者数の回復を目標とする。	新しい施設の供用の予定がない為に、落ち込みを最小限に留める	全面供用で前年度落ち込んだ利用者数を回復するとともに、利用者増を目指す。	昨年度の実績値を、達成の目標とした。
	対21年度比	100.0%	90.7%	99.1%	99.2%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	147,540	100,000	204,780	170,000
	指定管理者委託料	57,644,000	62,134,000	62,134,000	62,124,000
	その他	180,994	180,000	341,943	550,000
	収入合計(A)	57,972,534	62,414,000	62,680,723	62,844,000
支出	人件費	25,815,377	16,222,000	25,510,800	25,930,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	32,229,186	46,192,000	36,969,779	36,914,000
	(うち外部委託費)(B)	20,153,320	29,706,000	24,118,407	17,320,000
	支出合計(C)	58,044,563	62,414,000	62,480,579	62,844,000
収支差額(A-C)		-72,029	0	200,144	0
外部委託比率(B÷C)		34.7%	47.6%	38.6%	27.6%
利用者一人当りの経費		955	971	942	941

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。  
 ※利用者1人当りの経費の算定式は、直営(HO~○年):(支出-収入)÷利用者数、指定管理者(HO~):指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年4月~24年3月、実施方法:公園利用者へのアンケート、回答数: 423人
-------	--

単位: %

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満
①良好な緑地環境の提供	70.7%	25.3%	1.4%	2.6%
②施設の清潔さの提供	74.9%	21.3%	1.7%	2.1%
③遊び、安全、安心感	70.1%	25.1%	2.2%	2.6%
④広報、利用、案内等	63.2%	30.4%	3.2%	3.2%
⑤スタッフの対応	71.2%	22.9%	2.7%	3.2%
⑥イベントの充実感	51.6%	37.8%	5.6%	5.0%
各項目の平均	67.0%	27.1%	2.8%	3.1%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの庭と交流広場への行き来が大変なので間にあるフェンスの鍵が付いている扉を通れるようにしてほしい。</li> <li>・日陰が少ない。</li> <li>・電車・バス利用案内が不十分。</li> <li>・もっとPRをするべき。</li> <li>・幼児向きのイベントがあれば。</li> <li>・バザーなどをやってほしい。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵を取り外し、扉を開放した。</li> <li>・日陰用のテント、パラソルの設置開始時期と撤去時期を気候に合わせて行った。また、パラソルの増設要望を行い、各ベンチに設置をした。</li> <li>・電車・バスの時刻表を地域情報掲示板に設置した。</li> <li>・山梨県内や相模原市等の施設に公園パンフレット・イベント情報誌を設置した。また、広報、観光情報誌、マスメディア、ポータルサイト等様々な媒体で広報活動を行った。</li> <li>・絵本の読み聞かせ会を実施した。</li> <li>・24年度に手づくり市を開催(24年4月実施)</li> </ul>

## 6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間の実績により、公園の特徴を生かしながら先を見越した管理を行うことができた。</li> <li>・施設の保守点検を定期的に行い、危険要因を排除することで、安全・安心に利用できる環境を作った。</li> <li>・こまめな清掃を行うことで快適な環境を維持した。</li> </ul>	<p>施設、設備の維持管理、環境に配慮した取り組み、利用者への対応、安全性の確保については、事業計画書に沿って適切に管理運営が行われた。</p>
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの向上を図るため、利用者の声に耳を傾け、タイムリーに対応することを目標とした。朝夕のミーティングや月例ミーティングにより、情報の共有化を図り、サービスの向上を目指し、成果を出すことが出来た。</li> </ul>	<p>事業計画書に沿った職員配置、本部との連携、人材育成など適切な運営体制が確保されている。</p>
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年目のレストランは、利用者のニーズや利用状況などを勘案し、メニューや営業時間の変更、休業日の設置などを行った。利用者満足度調査でも良い評価を得ている。</li> </ul>	<p>公園の自然環境等の特色を生かしたイベントが積極的に実施されている。また、レストランの運営は、利用者の意見に配慮し利用時間等の対応も行われている。</p>
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値の97%に留まったが、これは冬季の全国的な寒波や休祝日の天候不順、震災の影響によるイベント中止等によるものと思われる。しかし、前年度比109%となり、21年度に近い数値となった。これは、全面供用し利用しやすくなったこと、リピーターの来園、知り合い等の紹介や広報により認知度が徐々に上がってきているものと思われる。</li> <li>・引き続き地域との連携によるイルミネーションやイベントを開催し、利用者の誘致につながった。</li> <li>・イベントの内容を工夫したことにより、新規の参加者の確保につながった。</li> </ul>	<p>ホームページ、広報誌等を活用し積極的に利用者の誘致に努めている。特に提案された自主事業は、ほぼ計画通り実施され、参加・体験型の企画も充実し、利用者の満足度も高く、公園利用者増加に貢献している。</p>
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有料施設の利用案内をイベント情報誌へ掲載し広報を行ったこともあり、利用率が上がり、収入が増えた。</li> <li>・光熱水費の節約に努め、支出を抑えた。</li> </ul>	<p>経費等を節減した管理運営が行われていた。今後も施設管理の徹底、広報活動に力を入れるなど利用者の増加に努めること。</p>
利用者満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間の経験に基づきよりきめの細かい配慮を管理スタッフが行うことにより、利用者満足度調査では、平均94.1%の評価を得た。</li> </ul>	<p>利用者の意見を受け、指定管理者で実施可能な範囲内での事項は行っており、公園管理に置いて、概ね良好な満足度を得ている。</p>
運営目標の達成状況	<p>運営目標の指標  入園者数 目標値 64,000人→実績値65,959人  有料施設利用者数 目標値 7,300人→実績値 3,620人  入園者数は目標を達成したが、有料施設利用者数は目標を達成することが出来なかった。</p>	

施設所管課による総合的な評価及び指導事項	事業計画書に沿って植物の維持管理、施設、設備の維持管理、清掃等に取り組みを行い、利用者への対応、安全性の確保に努めた結果、管理運営は良好に行われている。 ホームページ及び地元広報誌に情報提供を行っており、広報活動にも努力が見られる。今後、農園を利用した魅力的なイベントの企画が望まれる。
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	利用者の魅力の一つでもある遊具施設については、改修のレベルに応じて、施設所管課と相談、調整を行い、自主改修、および予算要求による回収を行い後手に回ることのなよう進め、来園者の安全に努めている。今後も直営点検を強化し遊具の劣化のスピードを抑える管理に努めていく。

## 7. 管理体制(組織図)

